

体育 · 保健体育科

1 カリキュラム作成のためのコンセプト

教科の本質

現在の小・中学校における体育・保健体育科の課題

〈指導内容・方法・評価等の課題〉

〈実態からの課題〉

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくための基礎を培う教科である。 ・活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力向上を図る系統性をもった唯一の教科である。 ・一人一人の児童・生徒の「学ぶ意欲や学び続ける意思」、「協力・公正」などの社会的な態度を育てることができる教科である。 ・運動を楽しく行うとともに健康と体や心の健康に果たす役割が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて学習」、「課題解決学習」のさらなる推進を図る。 ・学習内容やねらいを明確化する必要性がある。 ①運動のもつ特性にふれる楽しさ・喜びを体得させる必要がある。(ねらいの重点化を図る) ②健康や体、合理的な運動の行い方への知的理解を図り、学び方の基礎・基本を身につける指導を充実させる。(体力向上の重点要因の明確化) ③武道を行う際、礼法を含む指導内容、指導適期および施設・設備の不備や指導者不足による問題点を改善する。 ・4-3-2 のまとまりに対応する領域・学年相互の縦や横のつながりを図り、運動や保健学習を通して人間関係調整能力を身につけさせる必要性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力が低下している。(体力の必要感の低下→ゆとりある体力の必要性) ・ゲームなど、室内での遊びが増え、運動遊びが減少している。 ・運動をする子、しない子の2極化が進んでいる。 ・運動嫌いが増えている。(早期から専門的指導の必要性) ・生活習慣・行動が乱れている。(生活習慣病、半健康、規範意識、職育の必要性)
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



課題を克服するための基本的な考え方

生涯スポーツとして運動に親しむ基礎づくり

- ・運動の楽しさや喜びを自主的・自発的に体得し、運動することの楽しさを味わいながら、9年間の学校生活の時期だけではなく、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ基礎作りを行う。
- ・ニュースポーツ等の導入や教材の工夫により、幅広いスポーツ観や新しい運動の楽しさを知る。

体力の向上

- ・1~9年生を通して、それぞれの学年の発達段階や興味にあわせた体力づくりを行い、自己形成能力の育成を図る。
- ・遊びながら、楽しみながら体力を高めていく学習計画を作り、健康や体力に関する自己管理能力の育成を図る。

心と体、一体となった発達を促す

- ・運動や健康への興味や関心を高めさせるとともに、課題に応じて適切な学習内容、方法を選択し、工夫・改善することのできる実践力を養う。
- ・運動やスポーツを通して、公正な態度や協調性、困難を克服する精神力を育て、自己コントロール能力の育成を図るとともに、健康なライフスタイルを確立する。

発達段階に応じた保健学習

- ・各学年の発達段階に応じた保健学習計画を立て、効果的に授業を行っていく。
- ・健康について深く理解し、それを知識として蓄積するだけでなく、適切かつ効果的に実践できる能力を養うとともに健康なライフスタイル(生活創造能力)の確立を図る。
- ・学習内容を児童・生徒の直面する健康問題の視点から整理・統合し、内容によってはスパイラルに指導していく。



小中一貫教育のコンセプトから考える体育・保健体育科のねらいと育てたい力

	生涯スポーツの観点から	体力向上の観点から	心と体の一体化の観点から（規範意識、公正な態度や協調性など）	発達段階に応じた保健学習
1年生 2年生 3年生 4年生	<ul style="list-style-type: none"> 運動を楽しく行い、運動の課題をもって工夫して活動できる。（めあてのもちかた） 伝承遊びやニュースポーツを行うことによっていろいろな運動感覚を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生では、やさしい運動遊びを通して、力いっぱい活動し体力を養うことができるようにする。 3・4年生では、各種の運動を通して、活発に運動を行い、体力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりやルールを守りながら誰とでも仲よく運動し、公正な態度で運動できるようにする。 	(3・4年生) <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や体験と結びついた正しい理解をし、身近な生活において、健康で安全な生活を営むことができるようにする。（生活習慣）
5年生 6年生 7年生	<ul style="list-style-type: none"> 運動の課題をもち、自己やグループの活動で工夫して計画し、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。（運動のポイントの理解）（簡単な技能） 伝承遊びやニュースポーツを行うことによって、仲間とのコミュニケーション能力を高める。（見るスポーツへの関心を持つ） 	<ul style="list-style-type: none"> フィットネスプランの立て方を知り、自分なりに運動に取り組むことで、運動による体力の高まりに気付く。（特に調整力） 	<ul style="list-style-type: none"> 武道に関する指導を積極的に取り入れ、礼儀作法を身につけるようにする。 心の健康が運動と密接に関連していることを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な思考を通じた正しい理解をし、日常生活において、健康、安全な生活を送るために適切な判断ができるようにする。（心の健康・性に関する指導）
8年生 9年生	<ul style="list-style-type: none"> 自己やグループに適した運動を計画し、課題を解決するなどにより、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。（練習法の工夫）（基本的技能） 各種のスポーツの特性にふれ、生涯スポーツへのステップとなるようにする。 伝承遊びやニュースポーツを行うことによって、伝統文化や新しいスポーツ観の価値を知る。（支えるスポーツへの関心を持つ） 	<ul style="list-style-type: none"> フィットネスプランを立て、計画的に自己の体力を高める。（特に持久力） 	<ul style="list-style-type: none"> 武道に関する指導を取り入れることによって、心身の鍛錬を図る。 心が体に及ぼす影響を知り、メンタルトレーニングなどを取り入れ、強い精神力を養うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な思考を通して適切な判断力を育てるとともに、自己の生活における課題をもち、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、生活を改善していくことができるようにする。



〈発達のみとまりによる主な指導内容・指導形態〉

1年生～4年生				5年生～7年生			8年生～9年生		
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動を楽しく行い、活発に運動を行っていく中で体力の向上を図る。 ・ゲームを通して、運動のみとめとしての活動を楽しむことができるようにする。 ・動きを繰り返したり、組み合わせたり、まねしたりした運動を数多く経験する。 ・やさしい運動を通して、仲間とともに運動する楽しさや喜びを味わえるようにする。 ・健康な生活のために、栄養と休養とともに運動が大切であることを知り、楽しんで運動できるようにする。(保健指導や市民科との連携) ・学級担任を主とした指導を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ・大会の実施などを通して、大会の企画・運営の仕方を知る。 ・運動を作り出したり、組み合わせたり、ルールを工夫したりすることを数多く経験する。 ・各種の運動を通して、仲間とともに運動する楽しさや喜びを追求していけるようにする。(市民科との連携) ・健康の視点から、運動の必要性を理解し、進んで運動に親しめるようにする。 ・教科担任制による指導を進める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に大会などの体育的行事を企画、運営していくことができるようにする。(大会運営能力) ・運動技能を身に付け、課題の解決をめざし、活動の仕方を工夫することを数多く経験する。 ・運動技能を高め、仲間とともに活動の仕方を考え、工夫したりして運動する楽しさや喜びを味わえるようにする。 ・運動生活に必要な知識や行動様式を身に付け、体力向上を図るための方法を身に付ける。 ・教科担任制による指導を進める。 		
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	学年 1単位 45分
90	90	90	90	90	90	90	90	90	現学習指導要領
90	90	90	90	90	90	100	100	100	小中一貫教育